

植物名	科名	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
リアトリス	キク																											
アゲラツム	キク								*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
マリーゴールド	キク								*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ステクシア	キク								*	*	*																	
オオハンゴンソウ	キク								*	*	*	*																
ハナガサギク	キク												*	*	*	*	*											
ヒマワリ「ムーランルージュ」	キク											*	*	*														
ヒマワリ「ソラヤ、マンチキン」	キク												*	*	*													
ヤナギバヒマワリ	キク																*	*	*									
ダリア・ピンナタ	キク										*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
コダチダリア (ダリア・インペリアリス)	キク																				*	*	*	*	*	*	*	*
マーガレットデージ	キク										*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ルリタマアザミ	キク												*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ジニア園芸品種2品種	キク												*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
クジャクアスター	キク															*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
コスモス「セレイヨシ、110-ガーデン」など	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
キバナコスモス	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
フジバカマ	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ウインターコスモス	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ハマギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
コハマギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ノジギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ナカガワノギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
アシズリノジギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
シマカンギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
オッタチカンギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
オキノアブラギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
イソギク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ツワブキ	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ダルマガク	キク																*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

* 開花期
f 果実、種子の観賞期
こぼれ種より育成した種類



大温室内植物の開花・結実記録

高井敦雄・梶原芳信

I バルサ *Ochroma lagopus* パンヤ科

昨年に続き、2006年4月中旬から5月上旬にかけて開花した(写真1)。1枝に3~4個の蕾が付き、全部で18花開花した。これだけ多く開花したのは初めてである。今回は、作業用通路(キャットウォーク)から花が間近に観察できたため、花筒に蜜があるのが確認できた。蜜の粘度は低く、多少の甘味が感じられた。



写真1. 平成18年4月30日撮影

II トレベシア パルマタ *Trevesia palmata* ウコギ科

中国南西部からインド北部にかけて自生する本種は、葉の裂け方が複雑で面白い葉形をしているため、主に観葉植物として扱われている。開花は稀であるが、2006年5月上旬から下旬にかけて初めて開花した(写真2)。

花は球形の散形花序で1花序あたりおよそ70~80花であった。今回、10数花序確認することができた。花は黄白色で、寿命は5日程度であった。



写真2. 平成18年5月4日撮影

Ⅲ ソーセージノキ *Kigelia pinnata* ノウゼンカズラ科

昨年に続き、2006年7月上旬から下旬にかけて約70花開花した。今回は13花(約19%)が結実し(写真3)、昨年の3果(約4%)から結実率が大きく上昇した。昨年と気象条件に大差なく、なぜ結実率が上昇したか定かではない。なお、昨年結実した3果は、2006年7月中旬に1個、8月中旬に2個落果した。



写真3. 平成18年11月1日撮影

Ⅳ アリストロキア ギガンテア *Aristolochia gigantea* ウマノスズクサ科

本系統は当園が以前から保有するアリストロキアギガンテアとは異なり、同種同名でありながら花が著しく大きく、観賞価値が高いため、2004年熱川バナナワニ園から導入したものである。2年前に2株植栽し、現在、熱帯スイレン温室との連絡通路の上部につるを這わせている。

昨年は初夏に3花、今年は10月から11月にかけて5花開花した(写真4)。花の長径は既存種が約20cmなのに対し、本系統は40cm以上と著しく大きかった。色調も既存種と本系統とは異なっており、前者が赤褐色地に白色の網目模様が入るのに対し、後者は茶褐色地に白色の網目模様であった。本系統も既存種と同様ある程度茂らないと開花しな



写真4. 平成18年10月24日撮影

いようで、今年は本系統が茂ってきたのが秋になってからであったため、開花がこの時期になったものと思われる。本系統も株を茂らせ、気温や日照が確保されていれば通年開花するのではないかと期待している。

Ⅴ タビビトノキ *Ravenala madagascariensis* パショウ科

2006年12月上旬に通算5回目の開花が確認された。10月中旬頃に6つの苞が出現し、およそ1ヶ月半後に開花した(写真5)。なお、今回は1つの花が5~7日程度観賞することができた。

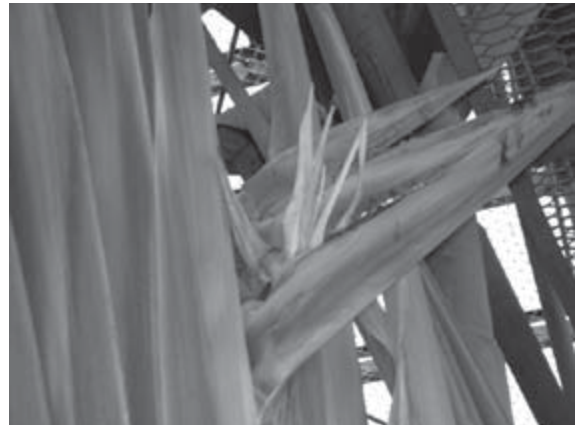


写真5. 平成18年12月9日撮影